



「よいしょ、よいしょ」もちつき楽しいな

「よいしょ、よいしょ」—こどもたちが一生懸命にもちつきをしました。

くねっぶ保育園では、昨年12月5日、訓子府幼稚園では12月11日にそれぞれもちつきが行われました。

父母や商工会青年部などが手伝い、まず大人が手本を見せてから園児が挑戦しました。小さな杵(きね)を持って「べったん、べったん」と元気よくもちをつき、見ていたほかの子もどたちからは「よいしょ、よいしょ」「がんばれー」などと声援が飛んでいました。

ついたもちは、きなこもちや雑煮などにし、子どもたちは「おいしい」と言いながら食べていました。

保育園と幼稚園



くねっぶ保育園



訓子府幼稚園



人権教室で思いやりを学ぶ

訓子府幼稚園で昨年11月27日に「人権教室」が開かれ、園児は、紙芝居や人権擁護のPRキャラクター「人権まもるくん」と触れ合い、思いやりや、やさしさなどの大切さを学びました。

オホーツク心の教育推進月間・週間にちなみ、訓子府、置戸、北見の人権擁護委員5人が幼稚園を訪れ「へちまばあさん」など二つの紙芝居を披露しました。2作品は、子どもたちとお年寄りとの交流などを描いています。



ウオツチング



全国大会出場をめざします

訓小リコーダー全道大会へ

第36回北見地方リコーダーコンテストが昨年11月23日に北見市で開かれ、訓子府小学校スクールバンドのリコーダー合奏がグランプリに輝き、1月9日に札幌市で開かれる全道大会に出場します。

昨年11月28日に部長の藏田優楽さんらが役場を訪れ、受賞を報告しました。

コンクールの小学校の部には9団体が出場し、訓小は「英国戀物語エマ」を演奏、練習時間が少ない中、豊かな表現力など、中学校も含めた全団体の中で最高の賞を獲得しました。

全道大会に向けてメンバーは「全国大会出場を目標にがんばります」と話していました。



遊戯や歌など、かわいい演技を披露

くねっぶ保育園のゆうぎ会が、昨年11月29日に町公民館で開かれました。

1歳から3歳までの園児約90人が次々に舞台上に登場、遊戯や歌などを一生懸命に演じ、笑顔振りまいていました。

会場には、父母をはじめ祖父母などが大勢詰めかけ、園児のかわいい動きや歌声に大きな拍手を送っていました。



くねっぶ保育園のゆうぎ会



ウオツチング



表紙の写真をプレセントします。ご希望の方は1月23日(金)まで、役場総務課窓口へお越しください。

訓子府幼稚園で昨年12月11日、恒例のもちつきが行われました。園児たちは父母に手伝ってもらいながら、小さなきねを手に「べったん、べったん」と楽しそうにもちつきをしていました。



もちつき楽しい
べったんべったん

表紙から

商店街の空き店舗を活用した「1(ワン) Day Shop うえるかむ」が昨年12月14日、旧小澤商事に開店し、町内外から大勢の買い物客が詰めかけました。空き店舗ににぎわいを取り戻したいと、農家の女性らでつくる野菜倶楽部が、一日限りのイベントとして実施しました。

町内の女性グループ手作りのバッグ、広島県尾道市のドライフルーツや手作りジャムなどの販売をはじめ、石臼を使ったきなこ挽き体験や有機栽培の玉ねぎ販売なども行われました。会場には大勢の来店客が訪れ、空き店舗に活気が戻りました。

「1(ワン) Day Shop うえるかむ」



空き店舗活用し
商店街活性化へ